

令和7年度
臨時 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「民泊について」

台東区 総務部 広報課

令和7年度 臨時 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

- 資格：公募による区内在住の中学生以上の方
- 活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。
- 任期：2年（令和7年4月1日～令和9年3月31日）

目的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内容

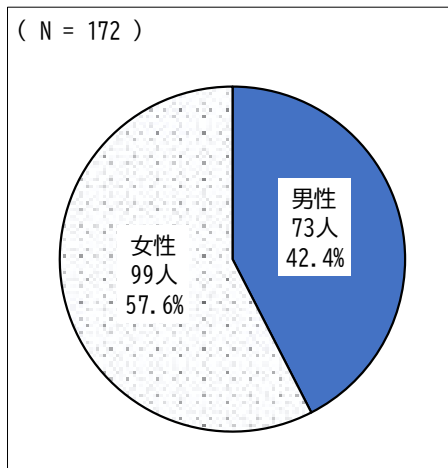
- ・民泊について

調査概要

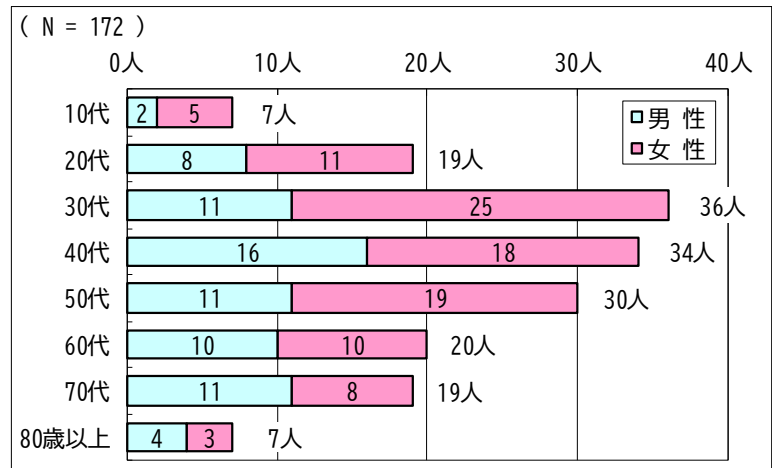
- 調査期間 令和8年1月26日（月）～2月4日（水）
- 対象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター25名、Eメールサポーター175名）
- 有効回収数 172名（郵便22名、Eメール150名） 有効回収率86.0%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男性	4人	3人	3人	13人	8人	3人
女性	7人	2人	4人	7人	9人	8人
計	11人	5人	7人	20人	17人	11人
地区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男性	3人	9人	12人	6人	9人	73人
女性	12人	14人	8人	13人	15人	99人
計	15人	23人	20人	19人	24人	172人

職業別

職業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人数	20人	91人	23人	9人	16人	13人	172人

目 次

I 調査結果の分析

「民泊について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【民泊について】

住宅宿泊事業（民泊）の届出件数が増加しており、苦情件数も増加していることから、民泊の現状と課題を把握し、今後の区政運営の参考とするために、調査を実施しました。

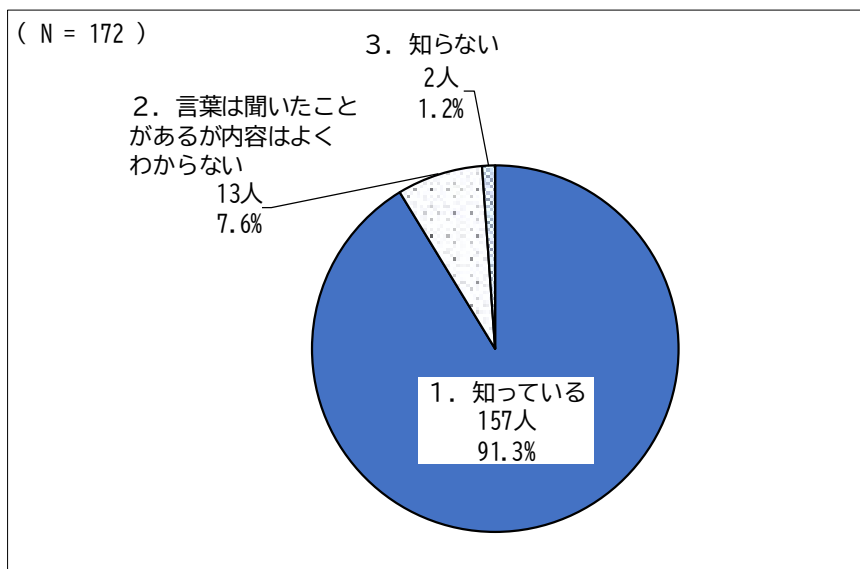
今回の調査では、民泊を「知っている」と回答した方は9割を超え、「民泊が区内で行われているのを見聞きしたことがある」と回答した方は8割を超えました。

また、民泊施設ができたことによって、良い意見と悪い意見が共にあったことを確認することができました。

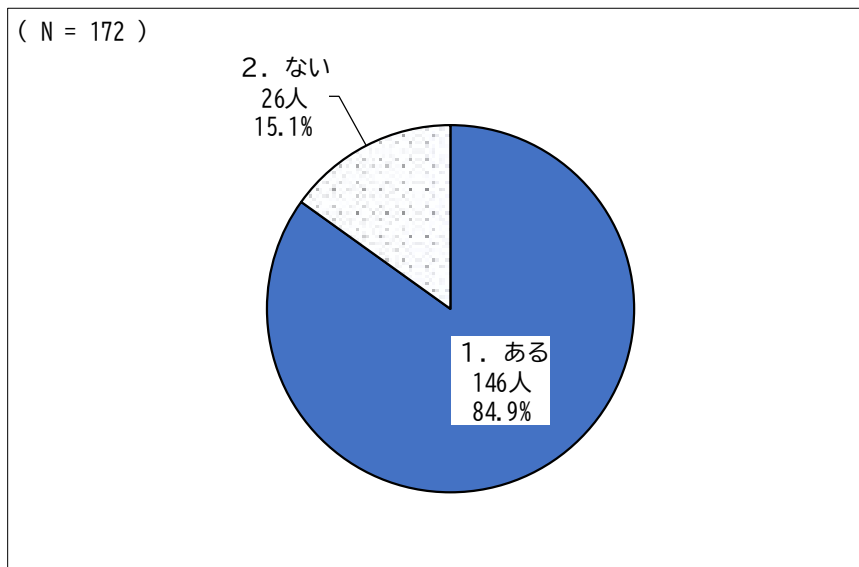
調査の結果を踏まえ、様々な観点から検討を進め、区の住宅宿泊事業の適正な運営の確保に努めてまいります。

(健康部 生活衛生課)

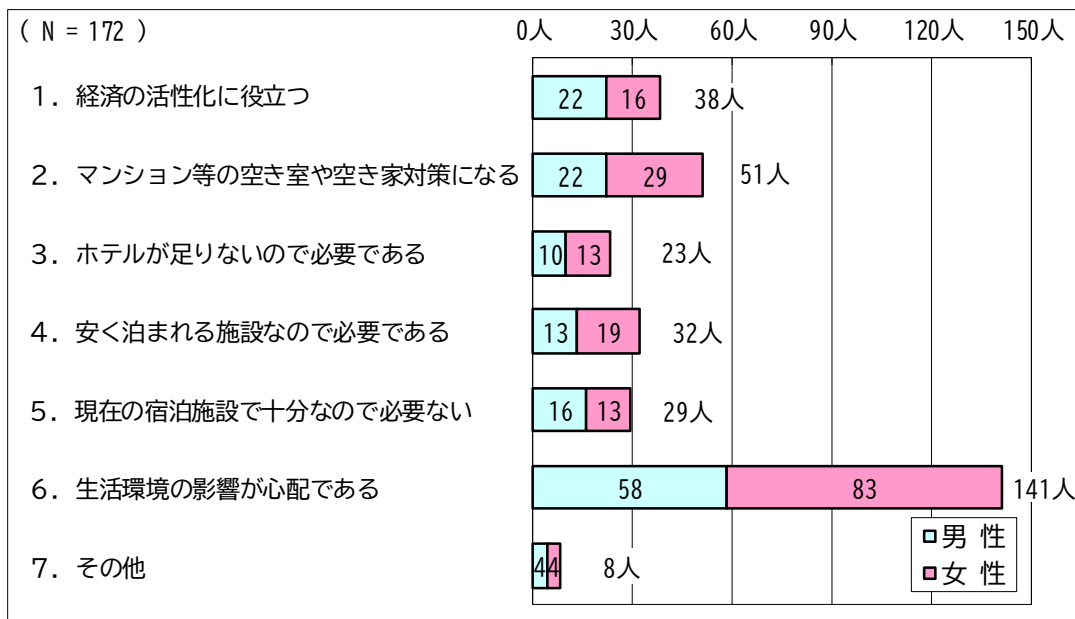
設問1：住宅を活用した宿泊サービスは「民泊」と呼ばれています。あなたは民泊について知っていますか。



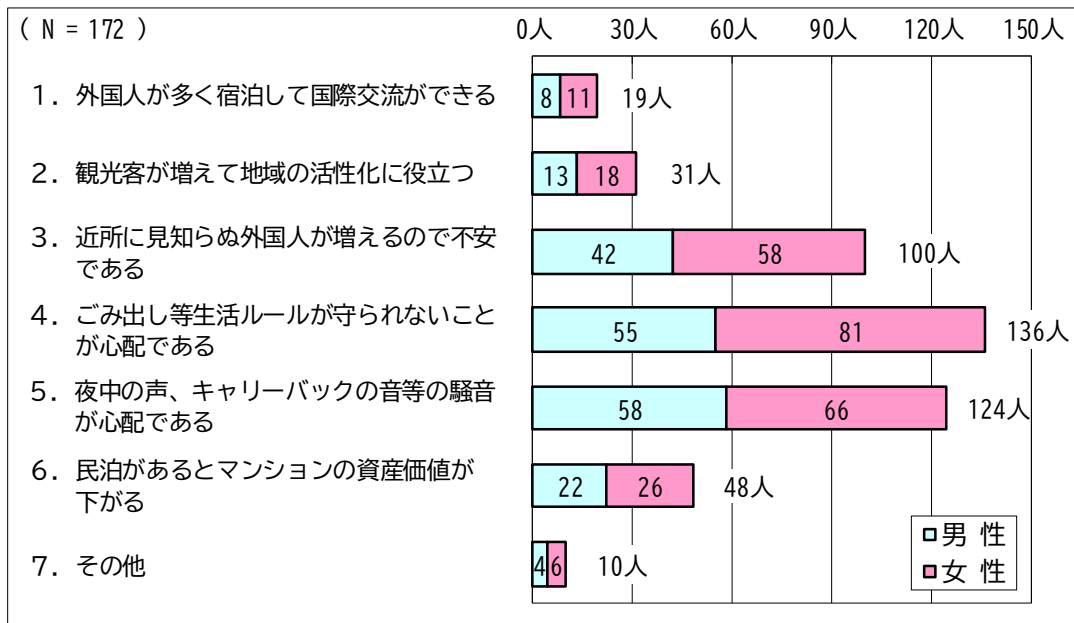
設問2：民泊が区内で行われているのを見聞きしたことがありますか。



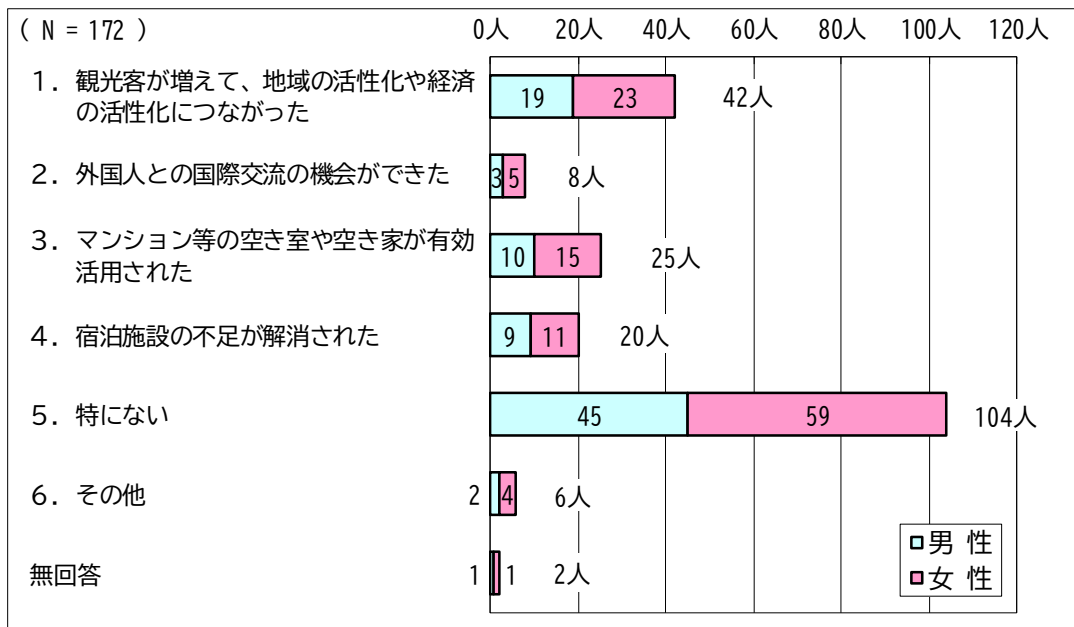
設問3：民泊についてどう思いますか。(複数回答可)



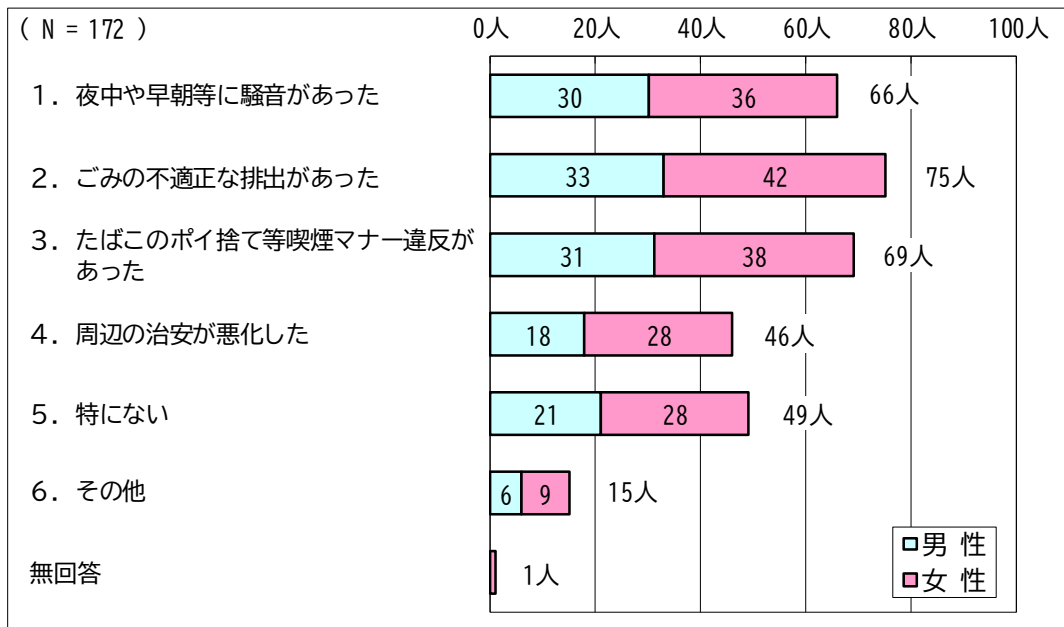
設問4：近くに民泊施設ができたらどう思いますか。(複数回答可)



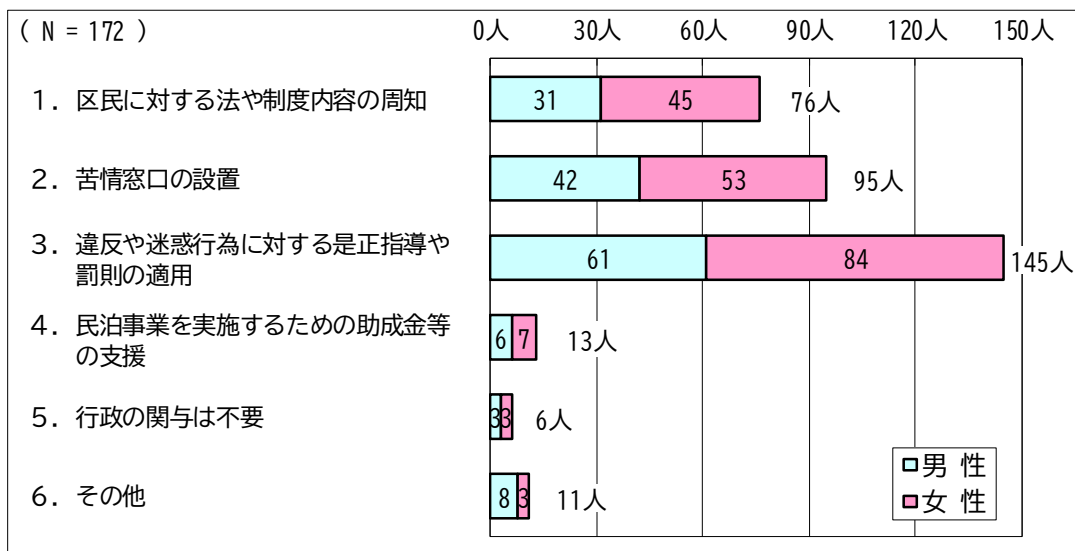
設問5：民泊施設ができたことによって、どのような良い影響がありましたか。(複数回答可)



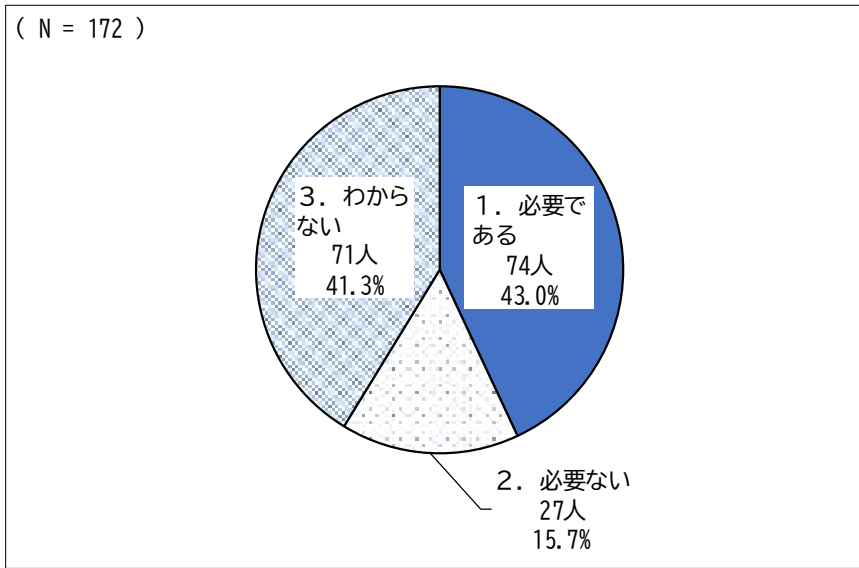
設問6：民泊施設ができたことによって、どのような悪い影響がありましたか。
(複数回答可)



設問7：民泊について、行政にどのようなことを望みますか。(複数回答可)



設問8：現行の条例では、「管理者が平日に常駐する場合は年間で180日の営業が可能」となっています。民泊の営業日数について、さらなる制限が必要と考えますか。



設問9：民泊について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・インバウンドが多い中、経済の発展のために有効だと思う。外国人との文化交流があればさらに台東区が活性化するという。
- ・外国人にもわかるようにルールを明確にして、地域の生活の害にならないようにしてほしい。活性化自体は望ましいと思う。
- ・空き家や古い住宅が多いので、民泊として利用されるのはすごく良い考えだと思う。現在も宿泊施設をもっと増やしたほうが良いのであれば、民泊を始めやすいように説明会をもっと開催してほしい。その周知も行ってけるとありがたい。
- ・今後の人口減少や空き家対策を鑑みると、これほど合理的で意味があるサービスはないと思う。民泊は必要と考える。
- ・周辺の古い建物が改修されて、民泊物件が増えている。ごみや騒音のルールを守ってもらえれば活性化できて素晴らしいと思う。
- ・騒音、不適切なごみ捨ては気になるが、観光客が街に多いことは住人として誇らしく、喜ばしい。マナーを伝え、しっかりと清掃することで良いまちづくりをしてほしい。
- ・宿泊施設が足りない、宿泊料金が高いので、気軽に宿泊できる民泊はある程度必要だと思う。運営側、宿泊する人にもきちんとルールを守ってもらうことが一番大切だと思う。住宅街の民泊は特にごみや騒音のルールが必要。
- ・台東区はマンションがどんどんできていて、空き室も多くなっていると思うので、民泊施設にすることは良いと思う。
- ・国内でも地方に旅行に行く際など、子供連れとなるとキッチンや洗濯機のある民泊は便利で利用したこともあるが、実際に自分のマンションで民泊利用のような外国人の方が出入りされるのを見かけた時は不安を感じた。
- ・隣に民泊施設ができて、ごみ出し等のルールが守られないことがあった。外国人旅行者が利用する機会が多く、治安面で不安がある。規制を強化してほしい。
- ・不審な宿泊者が利用しないよう安全面の強化をしてほしい。大きなスーツケースを持ってバスを利用されると住民のバス利用に影響が出るため、対策を講じてほしい。

- ・居住者以外の不特定多数の方が出入りするのには防犯面でも環境面でも望ましくない。外国人とは文化が違い、日本人が喫煙や飲酒等で迷惑を被ることがある。
- ・一般住民としては、民泊すべてが良い影響を与えるとは考えづらい。異文化体験で日本家屋の民泊などは有効かもしれないが、都心のマンションの一室で営業している場合もある。民泊＝国際交流と安易に結びつかない。
- ・知らない間に一戸建てが民泊になっているのでびっくりする。近所への周知はやってほしい。マンションの中で民泊をやっているのは本当に困る。
- ・斜め前のマンションが民泊をしている。騒音、壁をどんどん叩く音があり、恐怖を覚えている。また、粗大ごみの放置を見ることがある。正直、嫌だと思っている。
- ・分譲マンションの一部の住居が民泊に提供されて騒音とごみの不法投棄により、明らかな迷惑を被った。分譲マンションでは民泊を許可しないでほしい。
- ・メリットとデメリットがある。家賃高騰などオーバーツーリズムへの対応を期待したい。
- ・台東区の規制が変わらず周辺自治体で民泊規制が厳しくなった場合、区内へより多くの外国人観光客が流れて環境悪化が懸念される。区内の状況だけでなく、周辺自治体の規制内容も踏まえて施策を検討してほしい。
- ・台東区、特に浅草は外国人にとって人気の観光地なので、民泊や短期賃貸型マンションが増えるのは仕方がないと思う。ごみ出しや騒音など、宿泊施設の運営側が守らなければならない厳しいルールが必要。そうでないと宿泊者と住民の間に軋轢ができてしまう。
- ・民泊をやる方は日本のマナーを宿泊者へ周知することと、守られなければ罰則を設けるようにしてもらいたい。日本に来たならば日本のルールを守ってもらいたい。
- ・過去に民泊を利用したことがあり、交流等含め貴重な機会だった。その反面、場合によっては他宿泊者の文化の違いや生活音で快適ではないこともあった。
- ・近隣の関わりが深まっておくことがまず基本だと思う。その上で、民泊を利用する方々を地域で受け入れる。実際に地域がどうこうするわけではなくとも、繋がりのある地域住民のもとに来た旅行者となれば意識も違うはず。
- ・地域住民の安心安全な生活環境の維持と経済的効果の両輪が重要だと思う。
- ・ごみ出しなどのように、現在の日本社会が決めたルールを知ってもらい仕組みがあれば、軋轢も少なくなるのではないかと。ルールをどのように伝えるかを考える必要がある。

II アンケート質問と回答

【民泊について】

設問1: 住宅を活用した宿泊サービスは「民泊」と呼ばれています。あなたは民泊について知っていますか。

1. 知っている	157人	91.3%
2. 言葉は聞いたことがあるが内容はよくわからない	13人	7.6%
3. 知らない	2人	1.2%
全体	172人	100.0%

設問2: 民泊が区内で行われているのを見聞きしたことがありますか。

1. ある	146人	84.9%
2. ない	26人	15.1%
全体	172人	100.0%

設問3: 民泊についてどう思いますか。（複数回答可）

1. 経済の活性化に役立つ	38人	22.1%
2. マンション等の空き室や空き家対策になる	51人	29.7%
3. ホテルが足りないので必要である	23人	13.4%
4. 安く泊まれる施設なので必要である	32人	18.6%
5. 現在の宿泊施設で十分なので必要ない	29人	16.9%
6. 生活環境の影響が心配である	141人	82.0%
7. その他	8人	4.7%
全体	322人	

設問4: 近くに民泊施設ができたらどう思いますか。（複数回答可）

1. 外国人が多く宿泊して国際交流ができる	19人	11.0%
2. 観光客が増えて地域の活性化に役立つ	31人	18.0%
3. 近所に見知らぬ外国人が増えるので不安である	100人	58.1%
4. ごみ出し等生活ルールが守られないことが心配である	136人	79.1%
5. 夜中の声、キャリーバックの音等の騒音が心配である	124人	72.1%
6. 民泊があるとマンションの資産価値が下がる	48人	27.9%
7. その他	10人	5.8%
全体	468人	

設問5: 民泊施設ができたことによって、どのような良い影響がありましたか。(複数回答可)

1. 観光客が増えて、地域の活性化や経済の活性化につながった	42人	24.4%
2. 外国人との国際交流の機会ができた	8人	4.7%
3. マンション等の空き室や空き家が有効活用された	25人	14.5%
4. 宿泊施設の不足が解消された	20人	11.6%
5. 特にない	104人	60.5%
6. その他	6人	3.5%
無回答	2人	1.2%
全体	207人	

設問6: 民泊施設ができたことによって、どのような悪い影響がありましたか。(複数回答可)

1. 夜中や早朝等に騒音があった	66人	38.4%
2. ごみの不適正な排出があった	75人	43.6%
3. たばこのポイ捨て等喫煙マナー違反があった	69人	40.1%
4. 周辺の治安が悪化した	46人	26.7%
5. 特にない	49人	28.5%
6. その他	15人	8.7%
無回答	1人	0.6%
全体	321人	

設問7: 民泊について、行政にどのようなことを望みますか。(複数回答可)

1. 区民に対する法や制度内容の周知	76人	44.2%
2. 苦情窓口の設置	95人	55.2%
3. 違反や迷惑行為に対する是正指導や罰則の適用	145人	84.3%
4. 民泊事業を実施するための助成金等の支援	13人	7.6%
5. 行政の関与は不要	6人	3.5%
6. その他	11人	6.4%
全体	346人	

設問8: 現行の条例では、「管理者が平日に常駐する場合は年間で180日の営業が可能」となっています。民泊の営業日数について、さらなる制限が必要と考えますか。

1. 必要である	74人	43.0%
2. 必要ない	27人	15.7%
3. わからない	71人	41.3%
全体	172人	100.0%

設問9: 民泊について、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和7年度 臨時
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和8年3月
台東区総務部広報課
令和7年度登録第91号